



わかりやすいね！みんなで考えたよ、等々力緑地サイン計画！ 6ページを
み見てみよう

まちづくり事例だよ！

等々力緑地への案内板（サイン）がわかりにくいという意見が、利用しているみなさんからあり、第53回国民体育大会が神奈川県で行われることをきっかけに、みんなで公園内全体をわかりやすくするサイン計画をつくりました。

地域の人たちや市役所の人たちが協力して、公園を調査したり、デザインの方針を考えたり、グループごとに作業を行って最終案を決めていきました。

第1回 グループにわかれて自由に意見を言う

第2回 全員で現地を調査
グループでデザインの方針をつくる

第3回 勉強会を行う
グループで案内板をつくる

第4回 デザイン案を選ぶ

第5回 最終デザインの発表
区長へ提案

こんな風に進めました！



最終デザイン案

変わった名前だね。ブレーメン通り商店街って、どんなところ？

3ページを
見てみよう

元住吉駅前にあるブレーメン通りは、ヨーロッパのまちをイメージした、おとぎ話に出てくるようなすてきなデザインの商店街です。買い物に来る子どもから大人まで、多くの人たちに楽しんでもらいたいと、商店街の人たちがみんなで協力してできました。

ブレーメンは、ドイツに実際にあるまちで、童話でも有名です。ブレーメン通り商店街の人たちは、名前をつけただけでなく、ドイツ国ブレーメン市のロイド・パサージュ商店街と姉妹商店街になって交流しています。

また、商店街ではリサイクルの取り組みなど、いろいろなことを行っています。



ブレーメン通り商店街でほぼ毎年行われている
音楽祭。約3万人もの人が集まる。



ロイド・パサージュ商店街から送られた
ブレーメン音楽隊のモニュメント。

みんなで守ろう、育てよう！～たまのよこやま井田山の緑～

13ページを
見てみよう

井田には昔から地域のシンボルとなっていた緑地があります。しかし、いつまでもあると思っていた緑地でも、その土地を持っている人の都合などで、開発地となって緑地がなくなることがあります。

そこで井田では、地域の人たちを中心に緑を守る運動を行い、その結果、川崎市は井田山緑地保全地区として緑を守っていく場所に決定しました。



緑が守られることになった井田山



多摩区の西生田で草刈りをしているようす

森は放っておくと木の下まで太陽の光が届かなくなり、植物が育たなくなります。森を守るためには、手入れが必要です。

多摩区の西生田にある多摩緑地保全地区でも、近くに住んでいる人たちが、みんなで協力しあって森の下草刈りをしています。

大人だけではなく、小さい子どもまでいろいろな人が参加しています。

みんなが力を合わせ緑を残していこうと、がんばっています。